環境学習　幸ヶ谷小学校　マイクロプラスチック調査を実施しました

実施日　：　平成 30 年 11 月 21 日（水）　9：30～12:00
場　所　：　潮彩の渚　（当事務所構内の人工干潟）
参加者　：　幸ヶ谷小学校　5 年生　35 名

当事務所構内の「潮彩の渚」（人工干潟）において、「環境学習　幸ヶ谷小学校　マイクロプラスチック調査」を実施しました。

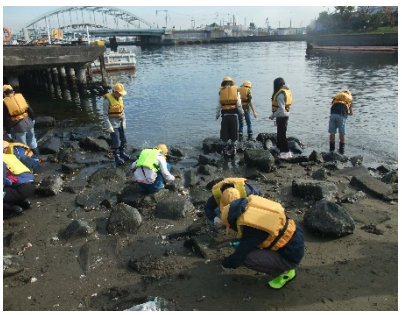
初めに、横浜市環境創造局環境科学研究所でマイクロプラスチックの漂着調査を行っている蝦名所員より、調査の目的や調査方法などを説明していただき、その後、人工干潟に移動し、マイクロプラスチックの採取を開始しました。

採取した結果、2mm～3mm程度のマイクロプラスチックが全体的に数多く見られました。干潟での子供達の様子はバケツやスコップ等を上手く活用し、砂の表面や干潟の水面等の砂をピンセットで地面や手の上に乗せ平たく細かくしながら熱心に調べていました。また、マイクロプラスチックの採取を行うと同時に、マイクロプラスチックができあがる基となるプラスチックのゴミを拾う作業も行い、実際に海に流れ着くゴミがどのようにマイクロプラスチックになるのかをゴミを拾うことで考えてみるということも行いました。

それぞれが採取したマイクロプラスチックとゴミは、持参したシートに記入を行い、実際にビニール袋に入れ、環境学習の材料として学校へ持ち帰りました。また併せて、当事務所を係留場所とする清掃兼油回収船「べいくりん」が実際に東京湾でどのようなゴミを拾ったかを、子供達が見学しました。ゴミの大きさと量の多さにとても驚いていました。今回の環境学習会ではマイクロプラスチックによる汚染問題の実態を体験する場として、当事務所の施設を提供することで、体験を通して子供達の学習がより身につくことを期待します。

横浜市環境創造局　蝦名さんによる説明

マイクロプラスチック採取①


マイクロプラスチック採取②

干潟に流れついたゴミたち

べいくりんが回収したゴミの見学

最後に記念撮影

問い合わせ先

国土交通省　関東地方整備局　横浜港湾空港技術調査事務所
〒221-0053　横浜市神奈川区橋本町　2-1-4
TEL:045-461-3896　　FAX:045-461-3898
環境課長　家島

環境学習　幸ヶ谷小学校　環境及び港に関する学習会を実施しました

1. 実施日及び参加者

平成30年9月26日（水）　4年生　35名

2. 実施内容

環境及び港に関する座学（多目的プラザ）及び実験水槽見学（実験工場内）

3. 概要

幸ヶ谷小学校の4年2組の生徒たちが、6月に続いて今年度2回目の学習会に来られました。前回の学習会の後、生徒たちから「東京湾のことや技調の仕事について、もっと知りたい！」との声が上がり、今回の学習会開催となりました。 座学では、東京湾の環境についての話や港の役割の説明に生徒たちは熱心に耳を傾け、たくさんの質問をいただきました。実験工場では、生徒たちが実験水槽内にどんな生き物がいるのか、水中をしきりに覗き込んでいました。

海の環境について勉強

質問タイム

実験水槽内の生物観察

問い合わせ先

国土交通省　関東地方整備局　横浜港湾空港技術調査事務所
〒221-0053　横浜市神奈川区橋本町　2-1-4
TEL:045-461-3892　FAX:045-461-3887
総務課長　石橋

環境学習　幸ヶ谷小学校 「潮彩の渚」で環境学習会を実施しました

1. 実施日及び参加者

平成30年6月26日（火）～ 28日（木） 4年生　105名

2. 実施場所

事務所構内　多目的プラザ及び潮彩の渚（人工干潟）

3. 概要

最初に多目的プラザにおいて、所長による歓迎の挨拶の後、干潟の役割や東京湾にはどんな生き物が住んでいるのかを学んでいただきました。座学で基礎知識を身に付けたら干潟に移動し、グループ毎に干潟の砂を掘ったり、石をひっくり返したりして見つけた貝やカニなどを採集して観察しました。梅雨の晴れ間に恵まれた3日間、生き物を見つける度に子供達から歓声が上がっていました。地元の海に住む沢山の生き物に触れ、海の環境について一層の理解と関心を深めていただけました。

海の環境について勉強

潮彩の渚で生き物を採集

採集した生き物を観察

最後に質問タイム

問い合わせ先

国土交通省　関東地方整備局　横浜港湾空港技術調査事務所
〒221-0053　横浜市神奈川区橋本町　2-1-4
TEL:045-461-3892　FAX:045-461-3887
総務課長　石橋